

資料4 人吉市環境審議会審議員名簿(敬称略)

平成24年10月22日～(任期:2年)

	分野	氏名	団体名	役職	備考
有識者	市民(地域・自治)	松村 三喜	人吉市衛生員連合会	会長	審議会 職務代理者
	市民(地域・自治)	田中 照久 神瀬 文夫	人吉市町内会長嘱託員連合会	会長	H25.5～H26.6 H26.7～
	市民(主に女性)	中野富美子	人吉市民生委員児童委員協議会	副会長	
	事業者(商工業)	高木 雅年	人吉市商工会議所	指導課課長	
	事業者(観光業)	有地永遠子	人吉温泉観光協会	常任理事	
	事業者(製造業)	深野 誠一	球磨焼酎酒造組合	青年部幹事	
	事業者(水利)	東 一善	ひとよし土地改良区	理事長	H25.5～
	事業者(農業)	簗田 秀彦 吉開 和彦	球磨地域農業協同組合人吉支所	課長	～H25.8 H25.9～
	事業者(活動)	岡本 光雄	人吉球磨地域レジ袋削減推進会		
	市民(教育)	東 覚	人吉市小・中学校長会	副会長	H25.5～
	学識経験者	篠原 亮太	熊本県立大学	名誉教授 特任教授	審議会 会長
	学識経験者	乙益 正隆	環境省野生動植物種保存推進員		
行政	小宮 智	人吉保健所	所長	H25.5～	

※諮問日(平成25年5月30日)以降の審議員を記載

資料5 自然環境研究会参加者名簿(敬称略)

自然環境の有識者による研究会を開催し、自然環境に関する現状把握について検討を行いました。

分野	氏名	団体・所属・役職等
植生・植物	乙益 正隆	環境省野生動植物種保存推進員
鳥類	中尾 禎志	
昆虫類・水生生物	宮川 続	環境省野生動植物種保存推進員
地質	村本 雄一郎	熊本県教育センター 教科教育研修部理科研修室長
行政(国)	石神 智生	林野庁九州森林管理局 熊本南部森林管理署 署長
行政(国)	上村 五十記	” ” 森林技術指導官
行政(県)	本田 裕範	熊本県球磨地域振興局農林部森林保全課 主幹
行政(市)	藤田 信哉	人吉市経済部農林整備課林務係主席

資料6 人吉市環境基本計画策定までの主な経緯

平成 25 年度	5月	30日 第1回環境審議会 ・市長からの諮問 ・個別規制条例の制定について／・人吉市環境基本計画について
	6月	ヒアリング（小中学生、衛生員）
	7月	17日 第2回環境審議会 ・人吉市生活環境保全美化条例（第2案）について ・基本計画ヒアリング進捗状況について
	8月	
	9月	
	10月	28日 第3回環境審議会 ・人吉市生活環境保全美化条例（答申案）について ・基本計画概要について
	11月	
	12月	6日 第1回自然環境研究会 ・人吉市の自然環境の現況について／・まとめ方、情報収集の方法について
	1月	29日 ヒアリング（保護者）
	2月	12日 第4回環境審議会 ・ヒアリング結果報告／・環境基本計画素案について 21日 第2回自然環境研究会 ・環境基本計画素案の自然環境分野の現況把握と課題について
3月		
平成 26 年度	4月	
	5月	21日 第5回環境審議会 ・環境基本計画案について
	6月	
	7月	18日 第6回環境審議会 ・環境基本計画案について／・御意見募集の実施について 22日～8月8日 環境基本計画案への御意見募集
	8月	18日 第7回環境審議会 ・環境基本計画案の答申について 27日 環境審議会答申
	9月	
10月	1日 計画開始	

資料7 ヒアリングの実施状況

1 実施方法

時 期：平成25年6月～10月実施

調査対象：小中学生（市内6小学校、3中学校の環境関係委員と生徒会役員）

衛生員（市内各校区の衛生員）

調査方法：それぞれの学校、校区の会議の場において、ヒアリング

調査内容：1 「人吉の環境が〇〇だったらいいなあ」という理想

2 「これは環境によくない、問題だ」という問題意識や不安

3 「環境を守るためにしていること」という実践行動

2 実施状況

(1) 小中学生と保護者

人吉東小学校	委員会	平成25年10月 3日
人吉西小学校	委員会	〃 7月 3日
東間小学校	委員会	〃 7月16日
大畑小学校	委員会	〃 6月26日
西瀬小学校	委員会	〃 7月10日
中原小学校	委員会	〃 7月 5日
第一中学校	委員会	〃 7月11日
第二中学校	委員会+生徒会	〃 9月 9日
第三中学校	委員会	〃 9月27日



市PTA連絡協議会	単P会長	平成26年1月29日
-----------	------	------------

(2) 衛生員（校区名はヒアリング当時の名称）

東校区衛生員	平成25年10月18日
西校区衛生員	〃 7月25日
東間田野校区衛生員	〃 6月21日
大畑矢岳校区衛生員	〃 9月12日
西瀬校区衛生員	〃 8月 7日
中原校区衛生員	〃 7月11日



3 意見

(単位：件)

設問	小中学生の意見	衛生員の意見	保護者の意見	分類
①「〇〇だったらいいなあ」と思うこと =理想	264	73	19	きれい・景観、自然、川・水など、11項目に分類
②「〇〇は問題だ。環境によくない」と思うこと=課題点、問題点	260	163	33	自然、川、動植物、騒音悪臭、大気汚染、ゴミ、分別しない、ポイ捨て、無駄遣い、環境行動、モラルなど13項目に分類
③環境を良くするためにしていること、したいこと=すべきこと	303	62	8	自然保護、水質保全、緑化、美化活動、リサイクル、分別・廃品回収、節電節水など11項目に分類
	827	298	60	

総計1,185件の御意見を自然環境、生活環境、快適環境、地球環境、環境教育の5つに再分類し、概要を計画書の現状把握<市民意識>に掲載、及び私たちの取り組みの基礎資料としました。

意見の詳細は、人吉市ホームページに掲載しています。

資料8 絶滅のおそれのある鳥類 (P17 関連資料)

自然環境研究会では、人吉市の鳥類の状況が詳細に報告されました。その一部を掲載します。

1 絶滅のおそれのある鳥類

地域の野生動植物を絶滅のおそれの程度によってランク付けしたものをレッドリストと言い、リストに写真や解説を付したものをレッドデータブックと言います。レッドリストやレッドデータブックは、環境省や都道府県で作成されています。

熊本県では、平成10年に「熊本県の保護上重要な野生動植物ーレッドデータブックくまもとー」を発行し、平成16年にリスト、平成21年に改訂版レッドデータブックを発行し、平成26年に改訂リストとして「熊本県の保護上重要な野生動植物リストーレッドリスト2014ー」を発行しました。

これらに掲載されている鳥のうち、次の19種については、2001年以降人吉で観察されています。

アオバズク(1)、アカショウビン、オオタカ、キュウシュウフクロウ(1)、クマタカ(2)、クロツグミ、コシアカツバメ(3)、コアシサシ、コヨシキリ、サシバ、サンショウクイ、チュウサギ、ツミ、ノスリ、ハヤブサ、ヒクイナ、ビンズイ、ブッポウソウ(4)、ホオアカ

2 鳥たちと共存するための工夫

(1) フクロウ、アオバズク

営巣できる樹洞がある大きな木が少なくなっています。公園などに巣箱を設置すると繁殖する可能性が大きいと考えられます。

(2) クマタカ

全国的にも貴重な猛禽類で、本市南部で観察されています。

(3) コシアカツバメ

最近数を減らしています。コンクリートの天井にヒョウタンを縦に半分に切った様な巣を作りますが、最近の工法（鏡面仕上げ）では、表面がツルツルで巣を作り難い状況にあります。橋や建物を作る時に天井を荒い加工にすれば巣を作る事ができます。家庭で巣作りしている場合は、そのまま見守って頂ければと思います。

(4) ブッポウソウ

人吉・球磨地方では主に橋に営巣するケースが多いので、鉄橋などに巣箱を架けると繁殖の可能性がります。

○ヤマセミ、カワセミ

レッドデータには入っていませんが、全国的には河川改修による土手のコンクリート化により営巣できる場所が少なくなっています。人吉・球磨地方は営巣できるシラス台地が多数あり、数を維持できているので、今後ともその環境を守って行く必要があります。